

分野	授業科目名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
専門分野Ⅱ 老年看護学	老年臨床看護総論 〈老年期の特徴的な健康問題と看護〉	1	30	2年次前期	副島 和美 第14/15回は 非常勤講師(老人専門看護師)

テキスト(発行所)	系統看護学講座 老年看護学 (医学書院) 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論 (医学書院) 生活機能からみた老年看護過程 第2版 (医学書院)
テキスト以外の教材、参考図書	配布プリント 実践パーソン・センタード・ケア (株:ワールドプランニング)

学習のねらい	老年期の特徴的な健康問題について学び、解決のための看護を理解する
学習目標	1 老年期疾患の特徴を理解する 2 高齢者におこりやすい症状と看護を理解する 3 高齢者の死にかかわる権利の擁護について理解する 4 様々な療養環境における看護を理解する

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回		1. 認知症の高齢者の生活を知る DVD(アルツハイマー病とともに生きる姿) 感じたことの話し合い	DVD視聴
2回・3回	高齢者の主な疾患・症状と看護 認知症のある高齢者の看護	2. 認知症の症状のアセスメントと看護 1) 認知症の分類 2) 認知症の中核症状と周辺症状 3) 認知症のある高齢者への看護ケアの原則 4) パーソンセンタードケア、環境づくり 5) BPSDの理解	講義・演習
4回	高齢者の主な疾患・症状と看護 介護予防・認知症予防	1. 介護予防(転倒予防、基本動作のアセスメントと看護) 2. 寛ぎ、安心、安全の確保のための援助	講義 演習
5回		1. 認知症予防アクティビティ(アート体験) 2. 社会参加のための援助	講義 演習 持参物(直前に提示)
6回	高齢者を介護する家族への看護	1. 家族が行う介護状況 2. 介護力の評価と家族への援助	講義・演習
7回	高齢者の主な疾患・症状と看護 老年期うつ病	1. 認知症との違い 2. 老年期うつ病の特徴と看護	講義
8回	高齢者の事故予防	1. 高齢者の事故要因 2. 入浴に伴う事故について 3. 高齢者の安全な生活環境づくり	講義・演習
9回	高齢者の主な疾患・症状と看護 排泄コントロール障害	1. 排泄コントロール障害の看護 1) 排便障害のアセスメントと看護 2) 尿失禁のアセスメントと看護	講義 個人ワーク・話し合い
10回		2. 排泄能力の変化に応じたケア用具の工夫	講義 グループマインドマップ
11回	様々な療養環境における看護	施設サービス・居宅サービスにおける看護と特徴(アロマセラピー)	講義・演習

回数	主題	学習内容	履修形態 他
12回	老年看護の理論と概念の活用	概念の活用(エンパワメント、ストレングスモデル、ライフレビュー、コンフォート理論)	講義・演習
13回	高齢者の主な疾患・症状と看護特徴的な健康問題	1. 共通する基本的な特徴 2. 老年期に多い疾患 3. 脱水予防の重要性と方法 (メディカルハーブティー体験) 4. 疾病による生活への影響	講義
14回	高齢者の死にかかわる権利の擁護	終末期における生き方や死の迎え方の意向と看護アドバンスディレクティブ(事前指示)	老人専門看護師による講義
15回	高齢者の死にかかわる権利の擁護	多職種からなる医療・ケアチームによる終末期支援の意義と役割	老人専門看護師による講義

<b>単位認定の方法</b>	<p>1. 30時間のうち24時間以上の出席があること</p> <p>2. 筆記試験 100点満点 60点以上で合格とする</p> <p>* 上記の1と2を満たした者に単位認定を行う</p>
<b>受講上のアドバイス</b>	<p>本講義では、高齢者の特徴的な疾患や症状に対する看護の方法について学びます。高齢者といっても、前期高齢者と後期高齢者では違いがあり、また個々の老化の進行状態によっても看護の方法は違います。</p> <p>本講義を通して、高齢者を観察・アセスメントする力と、対象のQOLを高められるような看護の視点を身につけて欲しいと考えています。</p> <p>本講義での学びは、臨地実習で高齢者を受け持つ際に、必ず使える知識です。意欲的に学習してほしいと願っています。</p> <p>* 第14～15回の講義は老人専門看護師による講義を予定しています。最新の老年看護について学びを深められるよう、意欲的に講義に参加してください。</p>